

# 受講申込受付中

お申し込みは公式サイトから

<https://akpa.jp/online-school>

あきたキッズプログラミングアワード



## 1 公式サイトよりお申し込み

オンラインスクールの申込フォームからお申し込みください。

## 2 「スクール動画・教材ページ」のURLをメールで送付

スクール動画と教材(スクラッチで使用するキャラクターや背景画像)を掲載したページのURLをメールで送ります。

## 3 教材をダウンロード

学習前に教材をご自身のパソコンにダウンロードしてください。

## 4 スクール動画で各自受講

スクール動画公開サイトにアクセスして好きな時間に何度でも受講できます。

※URLはお申し込みいただいたご本人のみが使用できます。複数人でご視聴される場合も各自のお申し込みが必要です。※インターネット回線使用料は受講者様のご負担となります。

【個人情報の取り扱いについて】本スクールへのお申し込みでご提供いただいた個人情報を、本スクールの運営に関する以外に他の目的で使用することはありません。本スクールを通じて得る個人情報は、お申し込み者のご了承をいただかない限り、第三者に開示することはありません。

主催  
秋田魁新報社

あきたキッズプログラミングアワードとは、県内の小中学生を対象にしたプログラミングコンテスト。秋田の未来を担う人材の育成と、プログラミング教育の裾野の拡大を目的に、2019年から開催。秋田魁新報社が、県内の高等教育機関、民間企業と連携し、主催している。  
【共催】秋田大学/秋田県立大学/秋田工業高等専門学校 【後援】秋田県/秋田県教育委員会/(一社)秋田県情報産業協会/(一社)共同通信社/(株)共同通信社/経済産業省/文部科学省/デジタル庁  
【運営協力】秋田コア ビジネスカレッジ/アイネックス 【企画協力】秋田県子どもプログラミング教育研究会 会長 廣田千明(秋田県立大学 准教授)

【事務局】あきたキッズ プログラミングアワード実行委員会  
お問い合わせ

TEL.018-888-1862 平日 9:00~17:00 秋田魁新報社 営業局 (秋田市山王臨海町1-1)

# あきたキッズ プログラミングアワード プログラミング オンラインスクール

本スクールは、プログラミング学習ツール「Scratch」スタラッチを使った全10回のオンライン講座です。  
教材はすべてオリジナル。多彩な講師陣の解説動画を見ながら学習できるので、初心者でも楽しくプログラミングを学べます。  
今回はオリジナル教材の著者、秋田県立大学准教授廣田千明(ひろたあき)氏から、本スクールのねらいをお話いただきました。今後、同氏による各講座の解説を紙面で掲載していきます。

対象:秋田県内の小・中学生  
入門編全10回 受講無料

Scratchは、MITメディア・ラボのライフロンク・キンダーガーテングループの協力により、Scratch財団が進めているプロジェクトです。https://scratch.mit.edu から自由に入手できます。

## 多様なプログラミング教育

一口にプログラミング教育といっても、対象や目的、方法により、たくさん種類があります。例えば、高度なプログラミングテクニックを教える、プログラムでロボットを動かすなどがありますが、小学校や中学校ではどんなプログラミング教育を実施すべきでしょうか。

このような状況を踏まえて、小学校や中学校で活用してもらえるような内容を全10回の教材の中に含めました。

## プログラミングを学ぶ理由

小学生に特定のプログラミング言語の高度なテクニックを教える、大人になつたころには学んだ言語は廃れていて役に立たない知識になっているかもしれない。ロボットを自在に動かすには、モーター回転数センサー感度などの細かな調整を学ぶ必要がありますが、これはプログラミング学習の本質ではないのではないかと感じます。

小学校で学ぶプログラミングについて考えると、義務教育として、子どもたちが人生の中で本当に必要な知識や技能を教える必要があると思います。文部科学省発行の「小学校プログラミング教育の手引き」にも、小学校におけるプログラミング教育のねらいは、プログラミング言語の修得ではなく、プログラミングの考え方やプログラミングの良さを知られることと書かれています。

## 本スクールのねらい

このような状況を踏まえて、小学校や中学校で活用してもらえるような内容を全10回の教材の中に含めました。

この講座では、ビジュアル型プログラミング言語「Scratch」(スクラッチ)を用います。ビジュアル型プログラミング言語では、いろいろな機能を意味するブロックをつなげてプログラムを作成します。

それぞれの回には学習テーマが設定されており、プログラミングを学ぶだけでなく、さまざまな内容を学ぶことができます。ぜひ、この講座を受講していただきたいと思ひます。

## スクール教材の著者

秋田県立大学 システム科学技術学部 廣田千明 准教授(秋田県子どもプログラミング教育研究会 会長)



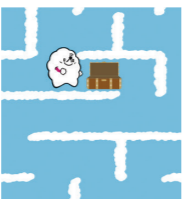
各回の講座解説は、1月15日から随時掲載します。

## スクール講座の紹介

第1回 くまの歩き(初級)



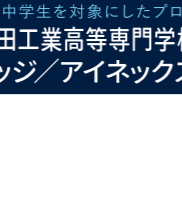
## 第2回 宝探し



## 第9回 感染シミュレーション



## 第10回 デジタル時計



## 第8回 かえるの合唱



## 第7回 お掃除ロボット



## 第6回 タイピング



## 第5回 コマンドは「箱」



## 第4回 交通信号機



## 第3回 シューティングゲーム

